

プロフェッショナル フォトゼミナール 2015

写真館の新戦略 パート2

「感性×技術力」

～生き残りと輝く未来をかけた
「ちいさな写真館」の新戦略を学ぼう!～

開催のご案内

長谷川正之氏作品



岩村佳宏氏作品



河野英喜氏作品



佐々木宏和氏作品



青野祠瑠氏作品

プロフォトゼミナール2015は「写真館の新戦略パート2 感性×技術力」として、新たなイノベーションを打ち出します。これからも繁盛店となれるよう、未来へ生き残る写真館となれるよう、業界の最新技術や最新情報を提供いたします。また、今一度見直すべき「和装」にもスポットを当てたセミナーを開催いたします。そしてプラチナプリントの世界も2日間みっちりとお実技していただき、写真の更に深い世界観も体感していただけます。各セミナー講師も魅力的な人材を揃え、2日間通して足元から未来を見つめた、内容の濃い時間を過ごしていただけると確信しています。2015年も写真館協会の「プロフォトゼミナール」で新戦略を学びましょう!

<協同組合 日本写真館協会>
<http://www.shashinkan.com>

開催要項

- 開催日 平成27年2月24日(火)～25日(水)
- 会場 日本大学芸術学部 江古田キャンパス (西武池袋線江古田駅北口)
〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1
- 受講料 会員(写真館1人目) ￥20,000 (懇親会費込み)
同一写真館2人目以降 ￥15,000 (懇親会費込み)
非会員 ￥25,000 (懇親会費込み)
懇親会のみ参加 ￥3,000
- 宿泊 宿泊費は含まれておりませんので、各自お手配ください。
宿泊は池袋周辺が便利です。
- 申込み 平成27年2月6日(金)締め切りです。ただし人数限定の講座は定員になり次第締め切りますのでご了承ください。申込みは受講申込書にご記入のうえ、FAXでお申込みください。なお申込みから順次整理し、1月より「受講票」を発送します。受講料は受講票に記載の期日までに指定口座にお振込みください。

後援：日本大学芸術学部、日本大学芸術学部写真学科、日本写真芸術学会

特別協賛：エプソン販売(株)、キヤノンマーケティングジャパン(株)、コメット(株)、ダイコロ(株)、(株)ニコンイメージングジャパン、(株)ピクトリコ、富士フイルムイメージングシステムズ(株)

協賛：イメージビジョン(株)、(株)HGSTジャパン、(株)エグゼック、(株)オリエンタルホビー、(株)神原、全日本学校アルバム印刷組合、(株)クロスワン、(株)全進堂、(株)DNPフォトイメージングジャパン、(株)東映堂、東京ラミネックス(株)、(株)トーコロ、(株)トヨテック、(有)ネオ美術工芸、日本営業写真機材協会、BBソフトサービス(株)、(株)フォトクリエイト、(株)プロカラーラボ、(株)よしみカメラ、(株)ラボネットワーク、リコーイメージング(株)、(株)ワイドトレード、(株)和田台紙店

(五十音順/平成26年10月23日現在)

写真館の新戦略 パート2 「感性×技術力」

会場：日本大学芸術学部 江古田キャンパス (西武池袋線江古田駅北口)

2月24日(火)	セミナーA	セミナー1	セミナー2	セミナー3
10:00~12:00	セミナーA			A: プラチナプリントのワークショップ 講師: 原直久 (スポンサー: エプソン、ピクトリコ)
11:30~12:30	受付、機材展示	私の出逢った写真家たち 講師: 江木 良彦 (スポンサー: 富士フィルム)		
12:30~13:00	開講式			
13:00~14:30	基調講演			
14:30~14:50	集合写真			
15:00~17:00	セミナーA/B/C	B: ファッションポートレート 講師: 河野 英喜 (スポンサー: ニコン)	C: 「きもの」を写すということ 講師: 長谷川 正之 日大所蔵オリジナルプリント見学	A: プラチナプリントのワークショップ 講師: 原直久
17:00~19:00		メーカーアワー (メーカー見学とメーカー独自のセミナー開設*)		
19:00~	懇親会 (学内食堂)			
2月25日(水)				
8:30	集合	D: ポートレートライティング&ポージング 講師: 岩村 佳宏 (スポンサー: コメット)	E: プレゼンカ「売り込む」のは「人」と「システム」 講師: 隈川 英孝 (スポンサー: ダイコロ)	A: プラチナプリントのワークショップ 講師: 原直久
9:00~11:00	セミナーA/D/E			
11:00~12:00		昼食 (学内食堂)		
12:00~14:00	セミナーA/F/G	F: 動画×写真×メッセージ 講師: 青野 祠瑠 (スポンサー: キヤノン)	G: 「家族写真には世界を変えるちからがある」 講師: 佐々木 宏和	
14:15~16:00	まとめ講演	ビジネスの進化と次世代のフォトビジネス 講師: 長沼 博之		
16:00~16:15	閉校式			

※メーカーアワー内でのセミナーについては、当日発表

基調講演

私の出逢った写真家たち

講師: 江木 良彦

(スポンサー: 富士フィルムイメージングシステムズ(株))



NHK紅白歌合戦に出演する大物歌手、大手企業の広告写真の女優らの着付けを担当する着物ファッションコーディネーターの大御所が登場します。広告写真家の稲越功一氏が撮った資生堂「素肌美人シリーズ」をはじめ、秋山庄太郎、藤井秀樹、立木義浩、荒木惟性氏など日本を代表する写真家と仕事をしてきました。「衣装が主張しすぎてはいけない。違和感なく美しいと思える世界を作りだせればいい。私の仕事は裏方です」「私が今あるのは出逢った写真家の先生方のお陰」とあくまでも謙虚ですが、その仕事に迷いやブレは微塵もありません。そんな江木氏が、これからの時代、写真家としてどう生きるべきかを語ります。また長年、親交のある写真家の白鳥真太郎氏が映像担当として参加します。

選択セミナー

A: プラチナプリントのワークショップ

講師: 原 直久

(スポンサー: エプソン販売(株)、(株)ピクトリコ)



発明以来140年以上の歴史をもつプラチナプリントは、群を抜いた耐久性と美しさを誇ることから印画法の王道と言われ、近年、世界的に再評価されています。デジタル全盛の現在、プラチナプリント用のネガ作りもパソコンとインクジェットプリンターの組み合わせによって明室で行えるようになりました。講座では持参したデータを用いてネガを作り、パラタイププリントとプラチナプリントを作成します。受講にあたってはデジタル画像データ(ポートレートを含む1~2点)を持参して下さい(カラー、モノクロいずれも可)。フォトショップの作業(Win、Macいずれも可)ができ、併せて銀塩プリント処理の経験者に限定します。あなたの作品で究極のファインプリントにチャレンジして下さい。(※このセミナーは先着限定8名の受講になります)

B: ファッションポートレート

光質選びと、影の見極めで魅力を引き出すポートレート撮影術

講師: 河野 英喜

(スポンサー: (株)ニコンイメージングジャパン)



数多くの商業フォトやファッションポートレートを手掛け、女優の写真集も撮影しているカメラマン河野氏が、光と影にフォーカスした河野流ポートレートをお教えいたします。コンピュータの後処理では出しにくい光と影のディ

テール。このセミナーでたっぷり実演いただきます。
【プロフィール】
島根県出身。写真は独学で習得。22歳でカメラマンとして広告制作会社へ就職し、24歳よりフリーカメラマンとして活動開始。広告、ファッション誌の撮影、女優・タレント、各界のアーティスト・著名人などを主軸に撮影をしている。また、写真専門誌やメーカー主催の教室で撮影指導、写真審査、執筆なども手がける。JPS 公益社団法人 日本写真家協会会員。



C: 「きもの」を写すということ

講師: 長谷川 正之

和装写真が大切なのは十分わかっている。だけど身頃や半襟ってどこの呼び名? 帯揚げや帯締めって何? という撮影前の知識が無い方も多いのではないのでしょうか? 写真を撮る前の「きもの」の知識や、写す時の撮影側の意識の変化で、自ずと写真のポーズやライティングも変わり、しっかりとした和装写真になってくるはず。和装振り袖ポージングの基本と応用を覚えて、これからの和装写真を変えてみませんか? 流行りの写真集はステキだけれど、しっかりと「綺麗な和装写真」をもう一度見なおしてみませんか。「自然なライン」と「自然な丸み」を意識した振り付けを覚えることで、格段に振り付けスピードも速く

なるということに基づき、綺麗な和装写真のコツをお教えします。

【プロフィール】

1964年12月9日生まれ 49歳

東京工芸大学短期大学部写真技術科を卒業後、菅原廉緒氏に師事しホテルニューオータニ写真室へ入社。平成元年に青森県弘前市へ帰省し家業の長谷川写真館へ入館、現在に至る。◎PPA会員、PAJ会員、全国PGC顧問、嵐の会代表他 ◎関東写真館協会他、撮影技術系のセミナー講演等



D: 煌めくアイデアと誰でも出来るちょっとおしゃれなポートレートライティング&ポージング

講師: 岩村 佳宏

(スポンサー: コメット(株))



今年度の写真館大賞の準大賞をはじめ、過去にはグランプリも受賞。エプソン主催のコンテストでもグランプリに輝くなど、大変非凡な才能の岩村さんです。男性、女性を問わず彼独特のポートレートの世界を、ライティングとポージングを主体に実技していただけます。ちょっとしたアイデアで被写体の放つ個性がガラッと変わってきます。普段被写体の何を観察し、どんなテーマを抱きながら撮影しているのか? そんな皆さんの疑問にお答えできる講義をしていただけます。

【プロフィール】

昭和43年 神奈川県横浜市出身

埼玉県立高校卒業後はアルバイト生活(2ヶ月かけてバイクで日本一周)(写真の勉強はしていません、、、)

21歳 (株)光潮社 伊勢丹写真室にアルバイトとして入社。

34歳 吉祥寺店オープン 店長勤務

39歳 新宿店フルデジタル化に向け新宿店へ異動

現在は今春オープンした恵比寿店の撮影を兼務



E: プレゼンカ「売り込む」のは「人」と「システム」

講師: 隈川 英孝

(スポンサー: ダイコロ(株))



営業写真館って、職人であり商人でもあるんですよね。どんなに優れた作品や商品を作っても、その魅力をお客様に伝えなければ商売にならない。

スタジオより『攻めの営業』が出来やすい学校写真で毎年40校以上の学校を担当

し、この20年ほぼ学校の契約打ち切りがない安定受注の「秘訣」をお話いただけます。このセミナーでは、見積もり合わせや価格競争で年々難しくなっている学校写真で勝ち抜くために必要なプレゼン力についてお話をさせていただきます。先生方や児童・生徒に『満足』をしていただくために、『人間臭さ』と『わかりやすいシステム』でプレゼンし、『何を売っていくのか』を明確にして、一人で年間40校以上の学校をこなしているちょっとした秘訣をご紹介します。

話の内容としては……………

1. プレゼンってどうするの?
2. 何を売っていくの?
3. アルバムの意味意義
4. 危機管理・法律適合
5. エンターテインメント
6. 弊社でのシステムとは

【プロフィール】

1967年1月9日生れ 48歳

2011年・2013年 PHOTONEXT ニコンブース講演

学校アルバム系セミナー講演・等

F: 動画×写真×メッセージ

「一期一会」~写真と映像の総合スタジオを目指して~
講師: 青野 祠瑠

(スポンサー: キヤノンマーケティングジャパン(株))



今回は2008年5DMK2の登場と共に取り組みはじめた一眼ムービーを利用した自店の商品事例や写真館ならではの活用法を中心に話させていただきます。また地域に根付いた活動や2014年5月より新たに取り組みはじめた4K動画の可能性。ギンザフォトスタジオ独自の撮影スタイルを実技も交えてご紹介させていただきます。

【プロフィール】

ギンザフォトスタジオ(代表) 青野 祠瑠(あおのしげる) 昭和53年生まれ。36歳。専門学校卒業後、実家のギンザフォトスタジオを引き継ぐ。コンセプトはこのスタジオにすれば撮影を通して『絆』が深められるきっかけになる、撮影の時間そのものが商品のひとつだと信じエンターテインメント性あふれる写真と映像の総合スタジオ(写真館)を目指しています。

●2011年 PHOTONEXT センターステージ講演

●2013年 キヤノンプロフェッショナルフォトソリューション 日本の新しい写真館(INDEX13)に出演



G: 家族写真には世界を変えるちからがある

講師: 佐々木 宏和

やりたいことだけをやりたいようにやる。それが出



来ないのは自分でできない理由をつけているから。そのことを知りアトリエささきは始まりました。僕がやりたいのは好きなお客様を集めて、いい写真を撮って、共感してもらって、家族がいる幸せを感じてもらいたい。そんなスタイルを目指しながらも

今までやってこれたのは僕たち夫婦に明確な使命感があったから。それを伝えることで価値を共有して下さるお客様とつながることができた。「家族写真には世界を変える ちからがある」と言ってしまうとそれに応えてくれるお客様が現れる。そんなアトリエささきのスタイルをお話します。

【プロフィール】

昭和42年生、現在47歳。関東学院大経済学部に入社したが、鎌倉に住みサーフィンざんまいの日々。卒業後 植村直巳さんに憧れてオーストラリアに渡り1年放浪生活をする。その後、アメリカに渡りバスで大陸を横断する。帰国後 鎌倉の鶴ヶ岡会館に就職3年半を過ごし、28歳で実家の佐々木写真館に就職し現在にいたる。昨年の富士コンテストで銀賞受賞。



全体セミナー

ビジネスの進化と次世代のフォトビジネス

講師: 長沼 博之氏



今、あらゆる業界のビジネスが変革のタイミングに差し掛かっている。誰もが、次の時代のビジネスモデルを模索している。そのような中で、写真館はどのような進化を遂げていくべきなのか。世界のトレンドから具体的な次の一手を考えていただきます。

【プロフィール】

一般社団法人ソーシャル・デザイン代表理事。経営コンサルタント。福島県出身。中央大学卒業後、船井幸雄グループに入社。企業及びNPOを支援し、年間最優秀賞を最年少で受賞。コンサルティング実績も300社を超える。また、次世代のビジネスモデル、働き方、社会のあり方を提案するメディア「Social Design News~社会をより良くする近未来インスピレーション情報~」を運営。メーカー革命やクラウドソーシング、ソーシャルデザイン、これからの働き方等についてテレビや雑誌からの取材多数。著書に「ワーク・デザイン これからの(働き方の設計図)」がある。